



東海市水防訓練及び平洲コミュニティ 大雨避難行動訓練を合同で実施します ～地域住民や市内協力事業者とともにいきます～

東海市防災訓練の一環として、大田川流域を対象に大雨時等の越水対策・堤防法面崩壊対策及び情報伝達訓練を主体とした水防訓練と合わせて平洲コミュニティが水害手作りハザードマップを活用した、大雨避難行動訓練を行います。

■日時

令和8年（2026年）5月31日（日） 午前9時30分～11時

■場所

平洲小学校グラウンド（荒尾町）

■参加者

- (1) 水防訓練：市職員、消防団、防火協力会、大田川流域浸水対策協議会、東海市防災活動協力事業者協会、東海ドローン協会など約250名
- (2) 大雨避難行動訓練：平洲コミュニティ約20名

■内容

- (1) 杭打ち積み土のう工法等による堤防法面崩壊対策訓練及び越水対策訓練
- (2) ドローン空撮等による情報収集訓練
- (3) 水害手作りハザードマップを活用した大雨避難行動訓練

■写真

昨年の杭打ち積み土のう工法の様子



昨年の大田地区まち歩きの様子



問合せ

都市建設部土木維持課

担当：名古屋（なごや）、平野（ひらの）、加古（かこ）

052-613-7827、0562-38-6414



今後の課題

<課題>

- 道路の冠水が始まってからの車での避難や、車を避難させる行動は危険である認識が低い。
- 避難困難者(独居老人、障害者、幼児とのひとり親家庭、外国国籍者)などへの避難の啓発活動および避難時のよびかけが不足している。

<要望>

- 渡内川の浚渫。
- 堤防の雑草の刈り取り。

注意点

- フタが無い側溝が多い。
- 東海豪雨の時、市道名和加木屋線(通称)半田街道は冠水したが、半田街道より西側の旧道は通れた。
- 旧道には、草が茂っている所があり避難の邪魔になる。
- 半田街道より西側は標高が高く、浸水しないと思われるが、道が狭く、道路勾配が急である。また、道路表面に水が流れるため、避難時は注意が必要。
- 半田街道より東側は、全体的に低い土地で、道路だけでなく、家屋・駐車場も浸水冠水する可能性がある。

避難所

一時避難場所

避難可能箇所
※避難所に避難ができない場合等に安全確認後に避難が可能な施設

水が早めに浸かりやすい場所

水が流れ込む方向

雨水マンホール

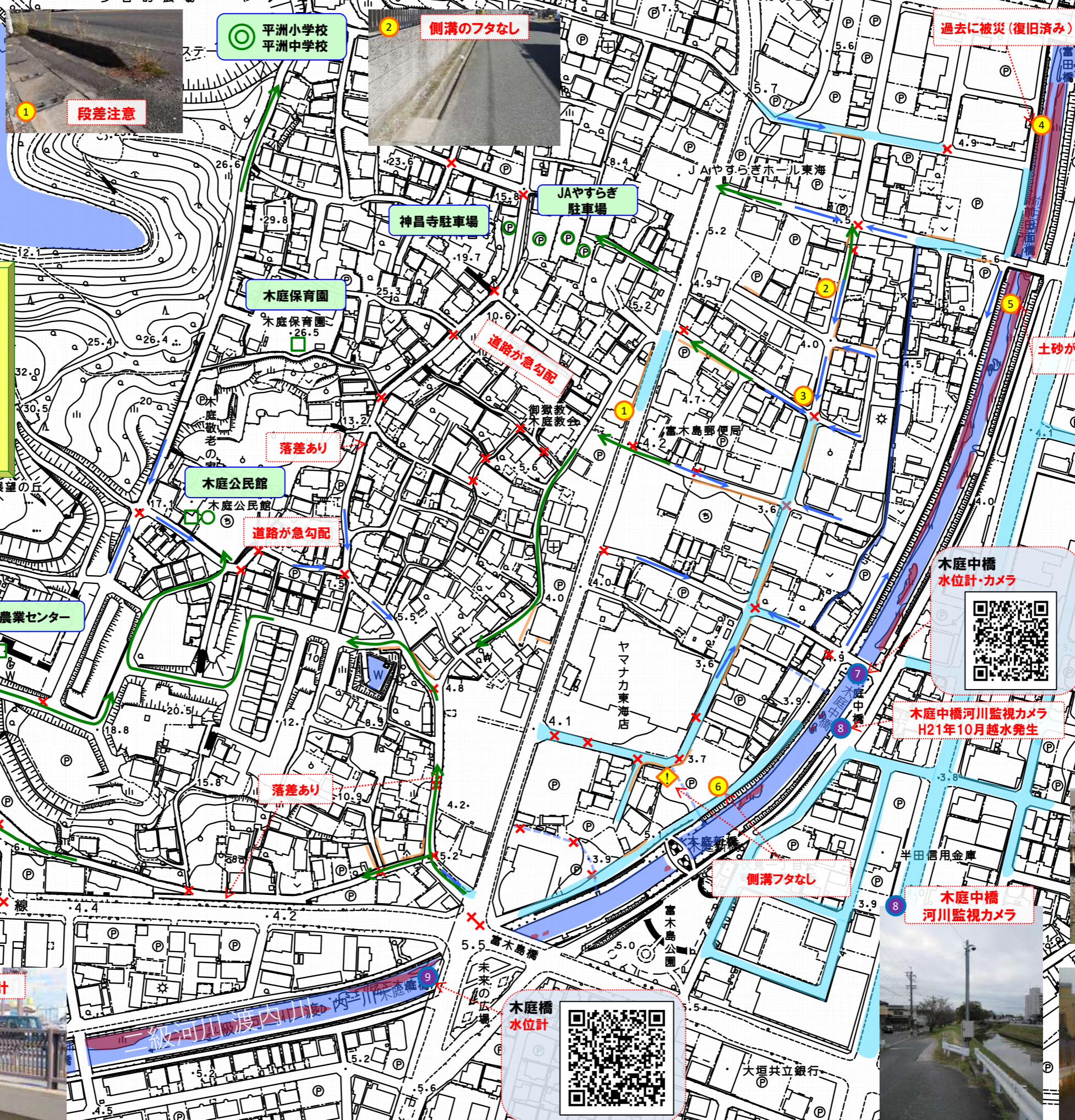
水路および暗渠

フタの開いた側溝

避難路

標高(メートル)

その他危険箇所



木庭中橋
水位計・カメラ

木庭中橋河川監視カメラ
H21年10月越水発生

木庭中橋
河川監視カメラ

木庭橋
水位計

